

県南地区の連携状況



1 連携状況の概要

県南地区の学校支援地域本部事業の取組状況としては、大仙市の8本部・仙北市の1本部・美郷町の3本部・湯沢市の1本部・羽後町の1本部・東成瀬村の1本部となっている。学校を核とした地域全体の教育力の向上を目指し、地域の方々を巻き込んだ活動を各本部で展開している。横手市においてはこの本部事業を立ち上げていないが、学校支援の教育活動に地域の教育力を活かすために、保護者や地域の方々がボランティアとして学校を支援する体制を全市的に整備することを趣旨とし、3年前から市独自の学校支援ボランティア活動推進事業を行っている。このように各市町村で、地域の活性化を図るためにボランティア活動に対する理解を深め、開かれた学校づくりと多様な教育活動を展開している。活動内容としては、校内装飾、町内クリーンアップ、学校田畑への協力、花植え・花壇の除草、安全パトロール、登下校指導、図書室整理等の環境整備支援、読み聞かせ、夏休み学習会、農作業指導、伝統芸能指導、スキー教室指導、書写指導、部活動指導等の教育活動支援が行われ、学校支援活動に参加意欲のある多くの地域住民に協力いただき成果をあげている。

2 学校・地域の相互協力の事例

ここでは横手市の十文字地区の外部人材を活用し学校が地域とつながっている実際例を紹介したい。

- ①各町内民生児童委員・PTA生活指導部員・学校職員との打合せ
- ②小・中合同PTCAの開催（PTAに地域の方、参加可能な方を入れ話し合う。）
- ③学校に地域の職業人の方を招いて行う「十字路」進路講座
- ④町商工会・PTA会員・同窓役員の紹介のもとに行われる職場体験
- ⑤消防署が協力、指導して行われる救急救命講座
- ⑥保育所が協力して行われる保育実習
- ⑦地域のLPガス協会の専門家が協力、指導して行われる調理実習
- ⑧地域の税務署職員がTTで指導して行われる税の学習
- ⑨高校生がアシスタントとして個別指導にあたる夏休みの質問教室
- ⑩部活動外部指導者の活用
- ⑪小・中の先生とPTA会員、民生児童委員が検討を加え作成された小・中9年間を見通した生活習慣表の活用

以上のように「地域の方々が生徒（職員）を知る」、「地域の方々の講話や地域の方々と活動をともしする」、「外部のその道の専門家から指導を受ける」の3点を学校が地域とつながるねらいとして、外部人材の活用や地域との連携のネットワークが、現在の地域との連携に生かされている。

3 これからに向けて

これまでの取組を通して、学校と地域の連携が深まり、互いの関わりによる効果を実感しながら活動できていることは確かである。豊かな人間関係づくり、絆づくりをより確かなものにしていくために、今後の課題としては次の点があげられる。

- I. 地域の実態にあった体制整備
- II. コーディネーターの育成
- III. PTAとの関わり

1点目は、市町村によって差があり地区の実態に即した組織体制を整備していく必要がある。市町村の中で、創り上げた仕組み、連携システムを広げていくことが急務であると言える。2点目については、学校教職員、コーディネーター、ボランティア等の学校支援ボランティア関係者を集めた計画的な情報交換会、研修会を充実させていく必要がある。そうした中で、学校と地域とのつなぎ役であるコーディネーターの役割、大切さを認識させたい。3点目の課題については、学校にとって影響力の高いPTAとの関わりを大切にして、PTAを巻き込んだ人材・活動分野を拡充していく必要があると考える。こうした課題点をふまえながら、地域に根ざした学校支援が長く続くよう、これからも支援に努めていきたいと思う。